第45回 公害環境デー

公害・原発をなくし、地球環境を守る。環境の保全・再生をめざす第45回府民集会

第2分科会　パリ協定発効と日本の課題

南館 7 階 71 号室
10:00～12:00

「COP22」報告－その成果と課題 …… 地球環境市民会議（CASA）専務理事　早川光俊氏
「世界に逆行、石炭回帰に突き進む日本」 …… 気候ネットワーク　山本　元氏
「市民がすすめる再エネ普及」 …… 自然エネルギー市民の会　中村庄和氏

●地球の温暖化は急激に進んでいます。

・2015 年の世界の平均気温が初めて産業革命前（18C 前半）よりも 1℃上昇。
・2011 年～15 年の平均気温は 1961 年～90 年の平均気温と比べて 0.57℃上昇
・結果、異常気象など**地球全体で大きな被害が発生しています。**このままでは、被害はより甚大なものになるでしょう。

●COP22 と「パリ協定」

2015 年の**国連気候変動枠組み条約締約国会議（COP P 21）**で「今世紀末の温度上昇を業革命以前から 2 ℃未満、できれば 1.5℃未満に抑える、21 世紀後半には温室効果ガスの排出量を実質ゼロにする」ということを目標にした**「パリ協定」**が採択されました。

・2016 年 11 月、モロッコで開催された **COP22 では目標達成のための具体的なルール作りの論議が始まりました。**

●日本の温暖化防止政策とエネルギー政策

・CO_2 削減目標は 2020 年目標は 1990 年比+3.3%、2030 年が△18%と消極的、
・エネルギー政策も原発・火力発電に依存するなど世界の流れに逆行

●分科会で三つの報告

・第 2 分科会では、COP22 に参加された早川さんから、**現地のエピソードを交えながら、パリ協定の内容や COP22 の成果や課題、日本の温暖化防止の現状と問題点**などを報告していただきます。

・続いて**脱炭素社会の構築のために再生可能エネルギーへの転換をはからなければなりませんが、その現状や問題点、転換のために取り組んでいる市民の動き**などを山本さん、中村さんに報告していただきます。温暖化の現実を知り私たちが何をすべきかを考える良い機会です。ぜひご参加ください。

温暖化の防止と再生可能エネルギー100％の実現をみんなの力で

2017年 2月4日㊏ 分科会（10:00～12:00） 全体会（13:00～16:30）
エル・おおさか 南館 ホール 南 71号室 101号室